



観光は平和への
パスポート

国連世界観光年宣言

JHS たより

平成23年10月14日(20,000部)発行

2011.10 Vol.43

学校法人 日本 ホ テ ル 学 院
発行所／専門学校 日本 ホ テ ル ス ク ル
財団法人 日本 ホ テ ル 教 育 セン タ

〒164-0003 東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代)
<http://www.jhs.ac.jp> <http://www.jec-jp.org/> FAX.03-3360-8584

ホテルオークラマカオ 7月2日開業披露

～卒業生 6名が着物大使として活躍中～

世界最大級、世界水準の総合メガリゾートがオープン



ハーマン・ダブラー総支配人と篁さん(左) 箕輪さん(右)

マカオは、1999年ポルトガルから中国へ返還され、中国政府が唯一公式にカジノを認めてる特別行政区、観光産業の振興を推進、マカオ半島南部、コタイ地区を中心に大型観光開発を行い、エンターテイメント型リゾートへと姿を変えています。

今年開業の「ギャラクシー・マカオ TM」は、'06年開業の「ヴェネチアン・リゾート」、'09年開業の「シティ・オブ・ドリームス」に続く、総工費約1,650億円をかけた第3の総合メガリゾート。香港のギャラクシー・ホテル(約1500室)、シンガポールのバンヤンツリー(256室)、そしてマカオ初の日系ホテルとなるホテルオークラ(488室)、3ホテルで合計2200室を提供、特にリゾート内に世界最大級の波の出るプールや、白砂のビーチなど様々なアトラクション施設があり、巨大な多目的メガリゾートが誕生しています。

7月2日、ホテルオークラマカオは、関連企業の上層部、地域有力者ら約120人を招いて、開業レセプションを開催、ハーマン・ダブラー総支配人のご招待を受けて、本校から石塚勉校長、武内悟副校長、江口幸専門講師の3名がこれに参列しました。

世界水準のアジアン・リゾートを標榜する中で、ホテルオークラは、地下1階、地



鏡開きに木槌を渡す米菴の役を得た
着物大使の卒業生達

頑張ろう日本!

あきらめず、粘り強く

校長 石塚 勉



「頑張る」の語源には二つの説があります。一つは、「眼張る⇒目をつける⇒見張る⇒一定の場所から動かない」と転じて、現在の意味になったとする説。もう一つは、「自分の考えを押し通す=我を張る」が転じ、「頑張る」になったとする説。前者が有力視されていますが、いずれにせよ、昨今の情勢では、あきらめず、粘り強く、「頑張らなければならない」と日々考えさせられます。

東日本大震災の被害は、報道によると、死者数15,733、行方不明者数4,462、避難者数68,816、建物被害数/全・半壊271,504と非常に大きく、更に原発事故の影響で、来日外国人が激減し、首都圏のホテル業界も窮屈に陥っています。こうした影響は、新卒者の就職活動へ顕著に現れています。

本校への求人数も、3.11大震災勃発直後、採用中止の企業が続出しましたが、夏場を越え、徐々に回復の兆しも見え始め、当初は対前年比約30%の減少はあったものの、求人数も回復傾向、内定に結びつきつつあります。これまでホテル業界が未経験の異例事態、本校としては、進路指導も増員して企業連携を強化、全員で「頑張って」います。業界も「頑張って」います。学生の皆さんも、あきらめることなく、粘り強く、「頑張って」いきましょう。一日も早い回復を！頑張ろう日本！

上32階、488室、レストラン3カ所、バー&ラウンジ4カ所、宴会場6カ所、ヘルスクラブ&室内プール、ショップなどを備え、“日本”、“和のおもてなし”を前面に打ち出しています。

今春、本校から、開業に合わせて、池田真弥さん(茨城県立古河第一高校出身)、畠沢美穂さん(岩手県盛岡女子高校出身)、箕輪友美さん(東京都立東高校出身)、下田眞美さん(女子美術大学出身)、篁望さん(群馬県立太田東高校出身)、小山胡桃さん(長野県諏訪実業高校出身)の6名が赴任、着物を着てロビーサービス、和食レストランサービスに携わっています。現地では、着物大使と呼ばれており、お客様からも好評を博し、ダブラー総支配人も絶賛、現地メディアにも取り沙汰されています。



後列左から: 下田さん、箕輪さん、池田さん、畠沢さん、小山さん、篁さん
前列左から: 武内副校長、石塚校長、ハーマン総支配人、江口先生

2年生対象 秋の就職フェアを開催 ～ホテル・ブライダル・レストラン等 30企業が参加～

9月6日、7日の2日間、2年生を対象とした「秋の就職フェア」を本校にて開催しました。

このフェアには、東日本大震災、津波、原発事故さらに長びく不況の影響で求人が減少している中、ホテル、レストラン、一般企業30社にご参加いただきました。

各企業の総務・人事担当者から、会社概要や求める人材、採用情報をお話し頂き、各教室では、積極的に就職活動している学生が各社の説明に聞き入っており、今後の内定獲得が大いに期待できる催しとなりました。

震災以降、各企業の採用が中止、先送りになりましたが、7月以降徐々に回復傾向にあり、このようなフェアを実施することができました。学生にはこのチャンスを活かし、秋・冬と内定を勝ち取ってほしいと思います。引き続き教職員も全力でサポートを続けていきます。



【参加企業】(順不同)

- 帝国ホテル ■シェラトン都ホテル東京 ■ウェスティンホテル東京 ■ザ・ワインザーホテル洞爺 ■パン パシフィック 横浜ベイホテル東急 ■渋谷エクセルホテル東急 ■パレスホテル大宮 ■パレスホテル立川 ■ホテルキャメロットジャパン ■株式会社プリンスホテル ■富士屋ホテル株式会社 ■国際ホテル株式会社 ■森観光トラスト株式会社 ■株式会社グランビスタホテル&リゾート ■ルートイングループ ■スマイルホテルチェーン ■株式会社ひらまつ ■株式会社うかい ■株式会社東京吉兆 ■四川飯店 ■大志満 ■WDI JAPAN, Inc. ■ジローレストランシステム株式会社 ■際コーポレーション株式会社 ■株式会社サイプレス ■株式会社バルニバービ ■株式会社モスダイニング ■株式会社オノワード樫山 ■株式会社ユナイテッドアローズ ■株式会社ティーケーピー ■シティパークアンドサービス株式会社

1年生 就職活動始動

～1年生対象 第1回就職ガイダンスを実施～

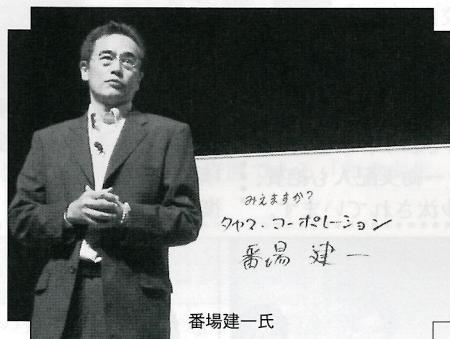
1年生を対象とした就職ガイダンスを9月6日「なかのZEROホール」(東京・中野)で開催しました。

ガイダンスでは、これから始まる就職活動に向け、大学、専門学校の就職セミナーで活躍されている番場建一氏による講演を行いました。番場氏は「今は就職難で本当に就職が厳しい。だから本気になって、採用してもらうために努力しなければいけない」と冒頭に述べ、就職活動の心構え、コミュニケーションの重要性を講義と演習によって解りやすく指導して下さいました。

次年度の就職活動へ向けて、モチベーションが上が

る内容の濃い2時間となりました。まだ1年生ですが、冬から採用試験のエントリーが始まっている企業もあり、学生は真剣に耳を傾けていました。

本校では、就職サポートとしてこのようなガイダンスの実施以外に進路指導職員と担任のダブルサポート、また、卒業後の進路や豊かな将来へのステップを探す授業「キャリアデザイン」を行っています。



ブライダルゼミ発表会を開催 ～挙式プラン4作品を発表～

ブライダルゼミ発表会を8月2日、本校の校舎で開催しました。

当日は、同日開催した学校説明会に参加した方々、卒業生、教職員、約60名の方にご覧頂きました。

発表会は、齊藤彰講師のブライダル科の授業説明から始まり、2年生の授業「ブライダルコーディート」で学生が企画した挙式プラン4作品を発表しました。

被災地の復興応援挙式やミュージカルを取り入れた挙式、田舎の温かみを感じる挙式、白ではなく黒いドレスをテーマにした挙式、どれもBGMと照明、MCをうまく組み合わせたプレゼンテー

2年生対象 夏季就職対策ゼミを開催

～ヘア・メイク講座等3講座を開講～

昨年に引き続きこの夏も「夏季就職対策ゼミ」を実施しました。

3つのテーマ別に用意された今年のゼミへは150名を超多くの学生が参加し、これから迎える秋の採用試験に向け、積極的に取り組んでいました。

ゼミ内容：

- 「ヘア・メイク講座」「面接で良い印象を与えるためのヘア・メイクとは?」
- 「履歴書・エントリーシート講座」「印象に残る書類とは?」
- 「プレゼンテーション講座」「印象に残る話し方とは?」



参加した学生からは、これからは自信を持って書類が書ける、好印象を与えるメイクの仕方などを詳しく教えてもらえて良かった、自分自身を客観的に見ることができ、改善すべき所が発見できた、などの声も上がり楽しみながらも今後に生かせるゼミになったようです。



シヨンとなり、ご覧頂いた皆様よりうれしいコメントをたくさん頂くことができました。

とくに震災後の被災地を舞台にパーティーテントでの挙式を披露したグループは、進行役の話し方とスライドの作り込みに高い評価を頂きました。

次回、来年2月のブライダルゼミ発表会では、ブライダル業界の方々をお招きしての発表会になります。それに向け後期もさらに授業に熱が入ることでしょう。



海外ホテル研修制度合同修了式開催 ～アメリカホテル・シャングリ・ラ ホテル スイスホテル研修生～

2010年度海外ホテル研修制度合同修了式を7月20日、ザ・プリンス パークタワー東京にて開催しました。修了式には、アメリカホテル研修生制度、シャングリ・ラ ホテル研修生制度、スイスホテル研修生制度に参加した26名のうち、22名が参加しました。

1年間の研修を終えた証として行われた合同修了式典では、1年間で大きく成長した卒業生が集い、人々に会う仲間との再会を楽しむ姿も見られました。

合同修了式で石塚校長は、「皆さんのお研修期間中に、いくつかのホテル企業を訪問しましたが、企業の方々からの研修生の皆さんの評価は高く、先日もホテルオーディアマカオの開業パーティーに出席しましたが、今年から派遣している6名の研修生の評価も非常に高いものでした。皆さんのが残される実績はこれからも続くものです。これまでの経験を今後のキャリアに活かしてください。1年間の研修お疲れ様でした」と、労いの言葉をかけられました。



進級特待生奨学金の認定式を実施 ～49名が認定～

2011年度進級特待生奨学金の認定式を昼、夜間部別に8月26日、9月1日それぞれ実施しました。今年度は、昼間部38名、夜間部11名の合計49名が認定されました。

進級特待生奨学金は、1年次の成績及び出席率、その他総合的観点で選抜した優秀な学生に対し、学費の一部を



免除するものです。

認定式では、石塚校長より「進級特待生奨学金は1年間の実績の評価。選ばれた実績を自分の宝物、誇りにして欲しい。選ばれたから終わりではなく皆さんのが卒業するまで努力して欲しいと思います」と激励の言葉をいただきました。

ブロンズライセンス認定試験 ～合格率97.4%（全国合格率87.7%）～

日本フォーマル協会主催の「ブロンズライセンス認定試験」に76名が受験し、74名が合格、100点を取った学生が24名と好成績を修めました。

この検定試験は、フォーマルウェアの正しい着装のルールやマナーを習得するもので、ブライダル業界、ホテル業界で働く際に、是非知っておいてほしい知識です。

資格取得により個人のスキルアップはもとより国際化する社会に相応しい教養を身につけることができます。



日本ホテルスクールでは、5年前からブライダル科の学生を中心に受験を推奨しています。任意受験ではありますですが、これまで累計439名が合格しています。



2011年度 アメリカホテル研修スタート

本校の海外ホテル研修制度を利用し、シェラトン・ラグナ・グアム・リゾートで1年間研修する卒業生11名が、6月20日、日本を離れグアムへ出発しました。

税関通過に2時間近くかかり、ホテルへチェックインできたのは深夜3時半でした。フロントで出迎えてくれたのは、昨年から研修を行っている本校の卒業生で、スムーズな手続きでチェックインを行っていました。翌日からは、ウェルカム・ブレックファースト・ミーティングや現在研修中の卒業生とのミーティングなど、盛りだくさんのプログラムでしたそれぞれの部署に配属になり、6月25日より研修をスタートしています。

尚、ヒルトン・グアム・リゾート&スパで研修する卒業生は、6月26日に渡航しました。本年度グアムには21名の海外ホテル研修生を派遣しております。



TSCクラブ OB会を開催 ～山中湖マリンスポーツを満喫～

20年間旅行やスポーツを中心活動をしてきました「TSCクラブ」（T：トラベル・S：スポーツ・C：クラブ）は、今年度からはOB会として夏の行事を開催することになりました。

今年のOB会は8月6日に山中湖で実施。卒業生、家族を含め20名が参加、マリンスポーツを楽しみ、卒業生同士の親睦を深めました。



1年生恒例行事 球技大会 ～チームワークの大切さを学ぶ～



男子の部 優勝をかけた攻防戦

を深めるため、そしてチームワークの大切さを学ぶことを目的として開催しています。

学生は男女にわかつてクラス対抗のバレー ボール大会を楽しみました。クラスごとに作成したオリジナルTシャツを着用し、応援にも一層熱が入り盛り上がっている姿が印象的でした。

順位発表閉会式では、良い結果を出したクラスもそうでないクラスも充実感に溢れています。

大会結果

男子の部優勝：

Fクラス

女子の部優勝：

Cクラス



女子の部優勝 Cクラス



男子の部優勝 Fクラス

外国人留学生バスツアーを実施 ～日本文化の理解・交流を目的に～



神宮 菖蒲園にて

6月11日、2011年度入学の外国人留学生対象に、毎年恒例のバスツアーが行われ、台湾・韓国・中国・インドネシア・モンゴルからの留学生12名と教職員10名が参加し東京都内観光を楽しみました。

江戸東京博物館、かっぽ橋道具街、車窓より東京スカイツリーを見物し、築地にて昼食・市場見学、明治神宮内の菖蒲苑、最後に東京都庁展望室と都内の名所を見学・散策しました。

このバスツアーは、他クラスとの学生交流・教職員との交流を目的とした学校行事の一つであり、外国人留学生指導委員会が中心となって開催しています。



築地市場を見学

サークル活動紹介 ～夏季合宿を実施～

カクテル同好会

～栃木県・那須高原～

8月9日～10日、栃木県の那須高原にてカクテル同好会恒例の夏合宿を行ないました。

今年の参加者は卒業生を含む57名。学校を出発し、昼食のあと那須高原体育館にて4時間のバレー ボール大会、スポーツの後は温泉にて汗を流しました。

宿泊は、貸し別荘を3軒貸し切りにし、夕食は手作りのパスタ3種類に焼肉三昧！食後には花火も楽しみました。

2日目は、流しうめんで朝食を摂り、南ヶ丘牧場にてソーセージとバター作りを体験、自由時間では各自アイスクリームを食べたり、マス釣りに挑戦、帰りに佐野のアウトレットで買い物を楽しんだメンバーは、渋滞を避けながら無事に東京解散となりました。

半数が卒業生という今回の合宿では、学年の枠を超えて在校生にとって実習や就職の不安も解消される良い交流がもてる機会となりました。



初めてのソーセージ作りに挑戦

野球部

～山梨県・小菅村～

8月7日～8日、山梨県小菅村にて初めての合宿を行いました。

夏季大会、秋季大会で好成績を収めたいという思いから今回の合宿を計画したものです。初日は、雨模様で30分程度しか練習が出来ませんでしたが、二日目は暑さの中、一生懸命練習に励みました。

野球未経験者や女性部員も経験者の指導で、熱心に練習している姿が印象的でした。練習後には、BBQや川遊び、花火などを行い、更にチームワークが緊密になりました。

残念ながら、夏季大会は惜敗致しましたが、10月中旬から始まる秋季大会では優勝目指して頑張りますので、JHS野球部の活躍にご期待ください！



宿泊した旅館前にて

フットサル同好会

～千葉県・白子～

9月3日～4日、千葉県白子中里にてフットサル同好会の合宿を行いました。

台風接近の中、参加者15名は到着日から早速ゲームで汗を流し、ゲーム後は、豪華フットサル商品争奪「JECICA杯」を3チームに分かれて行いました。

真新しいユニフォームに袖を通したメンバー達は、秋に向けての活躍を誓い、合宿を終えました。

2日間で真っ黒に日焼けし、夏の思い出を作ることが出来たフットサル同好会でした。



真新しいユニフォームで記念撮影！

～JHS同窓会便り～

2011年度 同窓会理事会を開催 ～東京プリンスホテル～

2011年度JHS同窓会理事会を7月29日、東京プリンスホテル「高砂」で開催しました。

1期生から38期生の同窓会理事が集った理事会は、中島宣由紀同窓会会长の挨拶に続き、2010年度の事業報告、収支報告、2011年度の事業計画案、収支予算案の報告、今年11月開催予定の創立40周年記念行事、音楽会と全体同窓会についての報告があり、すべての議案について承認されました。

また、石塚勉校長から学校の近況報告および今後の同窓会発展に向けての助言を頂きました。

理事会終了後は、理事、学校関係者による懇親会が行われ、学校教職員と卒業生、卒業生同士の交流を深めました。



第36回 JHS同窓大学 ～茨城を神栖市で開催～

第36回JHS「同窓大学・茨城」が7月9日、鹿島セントラルホテル（茨城県神栖市）で開催され、教職員、卒業生合わせて10名が参加しました。

中島宣由紀同窓会会长、今回の同窓大学学長の菊野哲二氏（1975年卒、同窓会監事）の挨拶に続き、勉強会では同ホテルの総支配人として多忙な日々を送っている、網中清氏（1975年卒）が教授を務め、同ホテルの概況、特色、茨城県神栖市周辺の産業、経済、観光事情などをテーマに講演を行いました。講演の後は、石塚校長から学校の近況報告の後は、懇親を深める夕食会をおこない卒業生同士の交流を深めました。

JHS同窓大学は、同窓会活動の一環として、同窓生の相互交流、生涯教育など、同窓生相互の絆を結ぶ活動として1996年度発足、翌年から活動を開始し、延べ570名の卒業生が参加しています。



マカオ文化局、マカオ旅游局で勤務中の二人 ～エスター朱培貞氏、Alfredo Augusto da Rosa氏～

これまでマカオから本校へエスター朱培貞（1985年卒業）氏とのアルフレッド・オーガスト・ダ・ロサ（1989年卒業）の二名が留学、卒業しています。

エスターさんは、日本語、中国語、英語の三ヶ国語を話すことから、帰国後、観光通訳ガイドとして活躍、その後マカオ文化局に公務員として、また、アルフレッド氏は、英語、ポルトガル語、中国語、日本語の4ヶ国語を得意としており、世界各地への広報担当官（現在、中国担当）としてマカオ旅游局に勤務しています。



それぞれ50代の年代になり、今日のマカオの発展に大きく寄与しています。

2011年度 幹部会議を開催 ～今後の同窓会活動の方向性を確認～

6月3日、本校会議室において2011年度JHS同窓会幹部会議を開催、2010年度の事業及び決算報告、2011年度事業計画案、収支予算案の各議案について審議され、承認されました。

また、同窓会の年間活動予定及び今年11月11日に開催予定の「学校創立40周年記念同窓会」の実施内容等について話し合いが行われました。

JHS同窓会は、1977年度に学校からの全面的な支援を得て設立され、この間、同窓会支部として国内8ヶ所、海外17ヶ所を設置。

また「JHS同窓大学」、「JHSソムリエクラブ」などの活動を通じて、卒業生との交流、連携を深めています。



同窓会幹部の皆様

■理事会に関するお問い合わせは同窓会事務局までご連絡下さい。
TEL:03-3360-8231 FAX:03-3360-8584

第12回 ソムリエクラブ会合を開催 ～ヴィノーブル カフェにて～

9月12日、第12回JHSソムリエクラブの会合を、高田馬場の「ヴィノーブル カフェ」で開催、料飲関係に勤務する卒業生を中心に19名が参加しました。このレストランのオーナーは松下巖氏（1989年度卒業）、卒業後よりホテル、レストラン、海外等で経験を重ね、独立開業して5年目を迎えました。

会合に参加した卒業生の中には将来、独立開業を目指す方もおり、将来のキャリアデザインを描く意味でもとても参考となる1日となりました。



参加者の皆様

今後もソムリエクラブは、卒業生が活躍するレストランや話題性があるレストランを選び、会員メンバーの皆さんから喜んでいただける集いを目指してまいります。

(ヴィノーブル カフェ <http://www.vignoble-cafe.com/>)

学校創立40周年記念同窓会のお知らせ

本校は1971年、プリンスホテルスクールとして創立、皆様のご支援、ご協力により今年で40周年を迎えることになりました。

学校創立40周年を記念して、下記の通り全体同窓会を開催致します。

主催：専門学校日本ホテルスクール同窓会

協力：専門学校日本ホテルスクール

財団法人日本ホテル教育センター

日時：2011年11月11日（金）18:00～21:00

場所：グランドプリンスホテル新高輪「飛天」

会費：お一人様5,000円

■お問い合わせ：同窓会事務局

TEL:03-3360-8231

※35周年全体同窓会では、

卒業生及び関係者

約1,000名が参加し、盛大に行われました。





財団ニュース

日本旅館国際女将会 ～2011年度 通常総会を開催～

6月15日、グランドプリンスホテル高輪にて日本旅館国際女将会2011年度通常総会及び懇親会が開催され、会員及び関係者29人が参加しました。

総会では、2010年度事業報告、決算報告、2011年度事業計画、収支計画及び役員人事承認が行われました。本期は2年に1度の役員改選期でしたが、旅館業界は震災の影響が大きいため、改選による新任役員の負担増を考慮、これまでの体制を継続することで決定しました。

特別報告として、今回の被災地、松島にあるホテル大観荘の女将、磯田悠子から、東日本大震災発生時の状況から、現地の被災状況とその対応について具体的な報告がなされ、質疑応答の後、復旧復興に向けての強い意気込みが語されました。また、観光経済新聞社の江口恒明社長からは、政財界を含む観光事業への取り組みについてお話をありました。



会議風景



被災直後の状況を報告する磯田氏

=2011年度 役員一覧=

名誉会長 小口 潔子／四季彩一力
会長 須賀 紀子／観光ホテル滝の家
副会長 矢口 委子／岬館
副会長 松本 美代／坐漁荘
副会長 若松佐代子／新つた
副会長 榎本眞規子／三河屋旅館
理事 小渕 祥子／富士屋
理事 松本 富子／紅葉館 別庭 あざれ
理事 磯田 悠子／ホテル大観荘
理事 太田 清子／箱根吟遊
理事 下竹原成美／白水館
理事 村田 知世／五浦観光ホテル
理事 岡崎 純子／高見屋
監事 荒木 紀子／長生館
監事 長坂 正恵／下呂観光ホテルしうげづ
アドバイザー 石塚 勉／(財)日本ホテル教育センター
アドバイザー 江口 英一／観光経済新聞社
アドバイザー 佐々木健二

和食文化の研修を実施 ～青山国際教育学院 外国人留学生18名参加～



講師の菊池研究員と留学生

青山国際教育学院からの外国人留学生18名（中国・韓国・インドネシア等）に、菊池かをる研究員が和食文化の研修を行いました。

本研修では、和室での立ち居振る舞いおよび知識（畳、床の間、襖など）について、座学の講義だけでなく、立ち居振る舞いやお箸の正しい持ち方などの実技も行われ、留学生のみなさんは真剣な面持ちで取り組んでいました。

菊池講師は、10月に実施された「和食検定」の開発に携わっております。中国を中心とした”インバウンド（訪日外国人客）”にアピールする、日本最大の観光資源である「和食文化」の習得度を測る本検定にご期待ください。

「和食検定」

「和食検定」は日本の食文化を正しく理解し、正しく伝えるための基本知識の普及と、和の食文化を継承し発信していくために必要な専門的知識と実務知識の理解度を図るものとして本財団が実施するものです。

- 第1回試験日：2011年10月29日（土）
基礎レベル
- 第2回試験日：2012年2月18日（土）
基礎レベル／実務レベル
- 試験会場：検定本部が指定した場所
(東京／大阪／福岡／札幌)
- 検定料：基礎レベル 5,000円
実務レベル 8,000円

■検定 / テキストに関する問い合わせ：和食検定本部
財団法人日本ホテル教育センター内
東京都中野区東中野3-15-14
TEL:03-3367-5663 FAX:03-3362-5940
<http://www.washokukentei.jp/> www.jecjp.org/index.html



基礎編 5,250円
実務編 5,250円

トピックス

「所さんの目がテン！」で放映される ～「テーブルマナーの基本」～



『所さんの目がテン！』

日本テレビ「所さんの目がテン！」（7月23日（土）放送）の放送の中で当財団書籍「テーブルマナーの基本」が紹介されました。

番組内でスープの飲み方についての説明の際、参考資料として放映されたものです。

書籍についてのお問い合わせ：
株式会社プラザ出版 TEL:03-5937-4321

「ホスピタリティ教育研究会」発足

10年間に渡り運営してきた「ホテル産業経営塾 同窓会」を発展的に解消し、今年6月に新規開講した「MICE(マイス)塾」と合同で、「ホスピタリティ教育研究会」を発足しました。

塾生が卒塾後も継続して成長できる場として、世代を超えたネットワークをビジネスや教育研究等の各分野で有機的に活用し、卒塾生各自およびホテル産業経営塾とMICE塾の価値を高め、ホテル業界の発展に寄与することを目的として設立されたものです。

両塾の塾生は、入塾することで、暫定会員となり、卒塾後、自動的に正式な会員となります。

■ホテル産業経営塾、MICE塾に関するお問い合わせ：教育事業室 TEL:03-3367-5663

◇◇◇ JHSたより 43号 ◇◇◇

編集責任者：石塚 勉
編集担当：黒沢由美子
連絡先：03-3360-8231 kurosawa@jhs.ac.jp